

## 認知症に関する活動計画（概要）

兵庫県作業療法士会では、県士会内の特設委員会として設立された認知症対策委員会を中心に認知症対策を展開している。現在、委員会での企画は大きく2つあり、一つは地域で認知症の方やその支援者をサポートできる作業療法士の人材育成であり、もう一つは認知症の人と家族会との連携による当事者支援である。研修では前年に続き、Ⅰ～Ⅲまでのステップアップ形式の研修を企画し、基礎的な知識から地域支援に関する演習までを学べる企画とした。病院や施設で働いている作業療法士が多い中、地域包括支援の視点を踏まえ、少しでも地域で認知症の方を支えられる仲間を育成することが重要と考えての企画である。また、認知症の人と家族会との連携では、当事者支援につながる活動実施に向けて企画そのものから協働して活動していくことを予定していた。

## 認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会と協働にて当事者支援に向けた企画を検討し進める予定であったが、実施に至らず、企画、運営を行うことができなかった。

## covid-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

2020年度は7月、10月、1月にステップアップ研修開催を企画していたが、COVID-19の感染拡大状況を考え運営は一時ストップした。研修方法を、web開催に切り替えて再度準備を進めていたが、様々な調整に時間を要し、実際に開催できた研修は、3段階のステップのうち第1段階のみの限定した開催となった。委員自身も試行錯誤の中での開催となったが、Web開催での研修運営について得るものも大きく、2021年度の開催については2020年度の経験を基に、従来の計画であったステップⅠ～Ⅲまでの研修実施につなげることができている。

認知症の家族会とは前年度に話し合いを持ち企画を立てるという計画まで進めていたが、そのあとcovid-19の感染拡大により、計画が全面的に止まることとなり、再開の目途はまだ進んでいない状況となっている。



初Web研修の様子

兵庫県士会事務所を  
キーステーションとして

## 研修事業の影響について

地域で認知症の方やその支援者を支援する作業療法士の人材育成に向けた活動は引き続き継続する方針で変わりはなく、2021年度はwebをフルに活用して研修ができるように企画を進めている。また、移動の負担をかけず地域を超えて様々な方を講師に迎えることも対面に比べて行いやすいというWEBでのメリットを生かした企画もあがっており、委員の一人の知人である英国のOTRを招聘して、英国における地域でのOTRの役割と実践に関する講義と意見交換会ができるように調整している。

認知症の人と家族の会との連携はcovid-19の感染状況を見ながらの企画検討となるが、活動の実施が難しい場合は、次年度以降も何らかの連携を状況に合わせて継続できるよう、話し合いを持つよう企画していきたい。